

伊丹市都市景観形成建築物の概要

都市景観形成建築物

| | | | |
|--|--|--|---|
| <p>指定第2号 坂上邸</p>  <p>指定日：昭和60年 4月 1日</p> | <p>母屋は江戸時代（享保期）に建てられたもので、蔵や塀、門、庭木などが伝統的農家の屋敷構えを見せ、旧北村の歴史的景観を構成する重要な要素となっている。屋敷は、また、旧伊丹郷町から北上する多田街道に面しており、その歴史的道すじの景観をしのばせる要素でもある。</p> | <p>指定第23号 前田邸</p>  <p>指定日：平成 5年11月 1日</p> | <p>藁葺屋根を有する母屋を中心に、蔵や納屋とこれらを囲んでいる庭や門・塀とが一体となって美しい屋敷構えを見せており、荻野の歴史的集落を構成する重要な要素である。</p> |
| <p>指定第5号 笹邸</p>  <p>指定日：昭和60年12月 2日</p> | <p>旧伊丹郷町の街道（かつて大坂道と呼ばれていた。）に面した伝統的酒蔵であり、江戸時代後期に建築されたと考えられる母屋は、歴史的市街地景観を構成する重要な要素になっている。</p> | <p>指定第25号 土井邸</p>  <p>指定日：平成 6年11月 1日</p> | <p>草葺屋根を有する母屋が、前面の開放的な庭や門・生垣とともに、伝統的な植木産地である荒牧の潤いある集落景観を形成する要素になっている。</p> |
| <p>指定第6号 平野邸</p>  <p>指定日：昭和60年12月 2日</p> | <p>旧伊丹郷町の街道（かつて大坂道と呼ばれていた。）に面した町家建築であり、江戸時代後期に建築されたと考えられる母屋は、歴史的市街地景観を構成する重要な要素になっている。</p> | <p>指定第26号 吉田邸</p>  <p>指定日：平成 6年11月 1日</p> | <p>山田の歴史的集落にあって、伊丹では数少ない重厚な雰囲気を持つ石造建築が周囲の伝統的農家建築等とうまく融合した景観を形成している。</p> |
| <p>指定第8号 入江邸</p>  <p>指定日：昭和60年12月 2日</p> | <p>江戸時代後期に建築されたと考えられる母屋や、これを囲む蔵・門・庭木などが、伝統的農家の屋敷構えを見せ、屋敷東側に隣接する浄源寺とともに、下河原の歴史的集落景観を構成する重要な要素となっている。また、屋敷は旧西国街道（国道171号）に面しており、その歴史的道すじ景観をしのばせる要素でもある。</p> | <p>指定第27号 芝田邸</p>  <p>指定日：平成 8年10月 1日</p> | <p>母屋を囲む長屋門と塀、そして納屋が伝統的な農家の屋敷構えを見せ、野間の潤いある歴史的集落景観を形成する重要な要素となっている。</p> |
| <p>指定第9号 笹邸</p>  <p>指定日：昭和60年12月 2日</p> | <p>御願塚の歴史的集落にあって、江戸時代後期に建築されたと考えられる母屋や、これを囲む蔵・門・塀・垣・庭木などが、伝統的農家の屋敷構えを見せ、付近の須佐男神社の緑と調和した景観を形成している。</p> | <p>指定第28号 田中邸</p>  <p>指定日：平成 8年10月 1日</p> | <p>母屋を囲む長屋門と塀、そして納屋などが伝統的な農家の屋敷構えを見せ、前面の道すじ植栽や水路と一体となった潤いある表情は、周辺の須佐男神社などとともに御願塚の歴史的集落景観を形成する重要な要素となっている。</p> |
| <p>指定第11号 増田邸</p>  <p>指定日：平成 元年10月 2日</p> | <p>下河原の歴史的集落にあって、浄源寺や入江邸などととも、旧西国街道の歴史的道すじ景観をしのばせる蔵の続く町並みを構成する要素となっている。</p> | <p>指定第29号 梶山邸</p>  <p>指定日：平成 9年10月 1日</p> | <p>江戸時代後期の建築と考えられる母屋と南側道路に面した長屋門などが伝統的な農家の屋敷構えを見せ、口酒井の潤いある歴史的集落景観を形成する重要な要素になっている。</p> |
| <p>指定第13号 中村邸</p>  <p>指定日：平成 元年10月 2日</p> | <p>下河原の歴史的集落にあって、浄源寺や入江邸などととも、旧西国街道の歴史的道すじ景観をしのばせる蔵の続く町並みを構成する要素となっている。</p> | <p>指定第30号 笹邸</p>  <p>指定日：平成12年 3月30日</p> | <p>江戸時代後期の建築と考えられるムクリのついた母屋や、これを囲む長屋門、蔵、塀等が伝統的な農家の屋敷構えを見せており、御願塚の潤いある歴史的集落景観を形成する重要な要素になっている。</p> |
| <p>指定第16号 荒木邸</p>  <p>指定日：平成 4年 5月 2日</p> | <p>春日神社の森を背景として建つ母屋は、江戸時代後期の建築を昭和初期に現在地に移転したものであるが、通りに沿ったケヤキ造りの長屋門・塀などと一体となって伝統的農家の景観を見せ、口酒井の歴史的集落景観の重要な要素となっている。</p> | | |